

【 第7回 女子ユースアジア選手権 】

2017年8月18日 ~29日

開催国 : インドネシア ・ 都市 : ジャカルタ

試合結果報告 8 月 24 日 (木)

JAPAN	VS	KAZ(カザフスタン)
12	前半	10
18	後半	9
	第一延長	
	第二延長	
30	合計	19

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	千葉 夏希			0
2	橋口 和佳奈		2	2
3	高木 奈央		1	1
4	阿礼 梨那			0
5	阿部 美幸	2	2	4
6	伊藤 愛莉	1	2	3
7	服部 沙也加	1		1
9	安田 つぐみ			0
10	岡田 彩愛	2	4	6
11	山路 麻愛		2	2
12	下地 真央			0
13	守屋 葵		1	1
14	関 洋香	-	-	-
15	谷藤 悠		1	1
16	柿添 まどか	-	-	-
17	佐藤 優花	3	3	6
18	江本 ひかる	1		1
19	宇治村 唯	2		2
	合計	12	18	30

戦評

第3戦はカザフスタンとの対戦。長身のダブルポスト攻撃に対して、日本のDFはフローターの利き腕に強く当たることを確認し、試合に臨んだ。前半、日本は相手の大きいDFに苦戦し、なかなか良い体勢でシュートを打たせてもらえない。せっかくの速攻チャンスも相手のGKに阻まれる。守っては、相手の力強いフローター陣をなかなか抑えられず、苦しい時間が続く。しかし、途中からセンターで出場した佐藤が1対1で相手DFを抜きだすと、他の選手にもチャンスが増え、岡田・阿部などで加点していく。同時に、DFも相手の攻撃に慣れ始め、守屋・橋口・宇治村を中心に相手のフローター陣を抑えだす。一進一退の攻防が続く中、GK下地のナイスキーピング、江本の速攻などに続き、前半27分、宇治村の速攻で逆転に成功し後半へ。後半、横の動きしかない相手のDFに対し、日本は伊藤を中心とした7人攻撃を仕掛ける。これが功を奏し、得点を量産する。力強いフローターと大きいポスト。守っても振り切られてしまう、押し込まれてしまう、今日の試合。それでも果敢にアタックにいった選手達の頑張りが、勝利へと繋がった。

報告記入者 :

安藤 希沙